

リフトバレー熱について



疫学・発生状況

リフトバレー熱（Rift Valley Fever, RVF）はフレボウイルス科に属する**ウイルス**による、アフリカ・アラビア半島に流行地帯を持つ、**蚊媒介性人獣共通感染症**。

- ・ 日本国内での発生は未報告だが、検疫法上の重要感染症（4類、全数届出対象）。
- ・ 主な感染経路：**ウイルスを持つ蚊、感染動物の血液や体液への接触、未殺菌乳の摂取**。
- ・ 近年、アフリカ各地で数年ごとに局地的または広域流行を繰り返している。セネガルでは2000年以降、主に北部を中心に周期的発生・2025年は56人発症（8人死亡）。

臨床症状・重症率・致死率

- ・ 潜伏期2～6日、80～90％は軽症（高熱、筋肉痛、頭痛、倦怠感、悪心等）。
- ・ 約5～20％が重症化（出血熱、肝炎、脳炎、網膜炎など）。失明や重度後遺症例あり。
- ・ 出血熱型や肝障害型では致死率が最大50％を超える例も。通常は1％未満～5％。
- ・ ヒト→ヒト感染なし。家畜→ヒト（人獣共通感染）が主。
- ・ 牛や羊の場合、潜伏期は1～2日、致死率は仔羊や仔牛で70～100％、成羊や成牛で20～30％、妊娠中の羊や牛に感染すると100％近い流産率。

診断・治療

- ・ 臨床症状＋疫学的リスク＋血清学的/遺伝子診断により確定。
- ・ 特効薬なし。支持療法・対症療法が中心（重症例は集中治療）。
- ・ 日本では検疫時の遺伝子検査、疑似症例の即時届出が義務。

予防・公衆衛生

- ・ 流行地では蚊の対策（防虫、環境衛生）、家畜との接触回避、家畜へのワクチンが推奨。
- ・ ヒト用ワクチンは未承認、実用化研究中。
- ・ 渡航時は流行情報確認、家畜や蚊への曝露を避ける、食品の安全な摂取を徹底。
- ・ 国内発生時は迅速な通報と、感染症法に基づく隔離対応。

日本の関連情報・対応

- ・ リフトバレー熱は感染症法4類、診断時は行政への届出が医師に義務化。
- ・ 国立感染症研究所が検査・マニュアル類を整備。厚労省-検疫所FORTH等で随時情報更新。
- ・ 動物検疫も厳格実施。研究分野では迅速診断法や国内発生時体制も議論。

参考文献・公式リンク

- 厚労省：<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-37.html>
- FORTH：https://www.forth.go.jp/keneki/kanku/disease/dis09_04rif.html
- NARO：https://www.naro.go.jp/laboratory/niah/disease_fact/kachiku/151595.html
- WHO：<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/rift-valley-fever>（英語）
（<https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/2017/07211530.html>）和訳
- WOAHA：<https://www.woah.org/en/disease/rift-valley-fever/>（英語）

セネガルのリフトバレー熱

2000年以降、セネガルでのリフトバレー熱は主に北部・サヘル地域を中心に、周期的な散発的流行や一部大規模流行を繰り返しています。流行は家畜（特に反芻家畜）の間での持続的伝播に起因し、雨季の蚊の発生や宗教行事前後の家畜移動・取引が流行拡大のトリガーとなることが多いです。人への感染は、感染動物の血液・体液、未殺菌乳の摂取や蚊の媒介により起こります。死亡例は主に重症例で、流行時にはヒト・動物双方の健康への警戒と予防が必要です。

年別・地域ごとの発生状況・死者数一覧

年	地域	症例数	死者数	主な特徴・補足事項
2003	サン＝ルイ、マタム	2	0	北部で散発流行 [2]
2008	マタム、サン＝ルイ	2	0	散発例（蚊の発生時期） [2]
2013	サン＝ルイ、ダカール等	11	不明	全国規模～北部で大流行、動物例52頭 [4]
2014	サン＝ルイ、北部	数例	0	前年からの継続、局所流行 [4]
2015	ヨヌフェレ（フェルロ）等	不明	0	家畜抗体保有率高い（IgG15%）明確なヒト患者報告なし [3]
2016	サン＝ルイ、北部	不明	0	動物間で継続感染（雨季終盤） [3]
2020	サン＝ルイ、マタム	9	0	北部中心、豪雨・家畜移動きっかけ
2021	ファティック（南西部）	3	0	南西部で局地流行、死亡例なし [5]
2022	マタム、サン＝ルイ、ダカール	4	0	北部中心・局地的 [3]
2025	サン＝ルイ、周辺	56	8	現在進行中、致死例多い [1]

セネガル国内リフトバレー熱流行の特徴

- 発生周期：主に数年～10年周期で地理的に集中した流行が繰り返される。 [3]
- 好発地域：サン＝ルイ、マタム、フェルロ地帯、時々南西部（ファティック）。 [5]
- 家畜：流行時は牛・ヒツジ・ヤギ等の流産・大量死が多発、経済的損失も大。 [4]
- ヒト感染：家畜との接触者や農村部住民、健康管理職員がリスク高。 [7]
- 流行季節：雨季終盤や大雨の年に多発しやすい。 [6]
- 予防策：蚊の駆除、家畜輸送制限、家畜ワクチン接種、感染家畜・製品との接触回避。 [7]

注意事項

- 年ごとの流行は地方レベルで散発するため、全国一斉の大流行はほとんどないが、2013年のように大規模化する年もある。 [4]
- ヒト感染例は多くの場合、家畜集団感染の「後追い」として出現するため、動物衛生と公衆衛生の両面から監視と対応が不可欠。 [4]
- 新たな発症が報告された場合、早期診断・隔離・リスクコミュニケーション徹底が求められる。 [7]

参考文献

1. https://x.com/santegouv_sn/status/1973715269148389504?s=61
2. https://stacks.cdc.gov/view/cdc/156273/cdc_156273_DS1.pdf
3. <https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11281490/>
4. <https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC5047427/>
5. <https://www.mesvaccins.net/web/news/18458-un-foyer-de-fievre-de-la-vallee-du-rift-est-declare-au-senegal>
6. <https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC7289439/>
7. <https://lesoleil.sn/actualites/sante/epidemie-de-fievre-de-la-vallee-du-rift-4-deces-enregistres-a-saint-louis/>

2000年以降のアフリカ全体の流行状況

年	国	発生件数	死亡数	備考（主な発生地域・特徴）
2000	サウジ・イエメン	900+	95	サウジ・イエメン国境地域[1]
2006	ケニア	684	155	北東部ガリッサ他、大雨の後[1]
2007	ケニア・ソマリア・タンザニア	700+	200+	東部・南部、大規模アウトブレイク[1]
2010	南アフリカ	250+	25	全国7州、家畜約1.4万頭感染・8千死[1]
2010	ナミビア	不明	不明	数例発生（南ア流行とリンク）[1]
2010	モーリタニア	63	13	Atar、Inchiri、大雨後[1]
2012	モーリタニア	34+	17	6地域、動物例多数[1]
2013	セネガル	11	不明	サン＝ルイ、ダカール等[1]
2013	モーリタニア	家畜例多数	不明	5地域、ラクダ・小反芻動物多数[1]
2015	モーリタニア	31	8	Kiffa、Magta Lahjar等[1]
2016	ニジェール	227	32	Tahoua地域[1]
2016	ウガンダ	5（確定3+疑似2）	0	Kabale（西部）[1]
2018	ケニア・ウガンダ・ルワンダ等	120+	10-26	EAC複数国、局地流行[2]
2020	モーリタニア	3	3	9地域一家畜流行[2]
2020	スーダン	1962	79	大規模アウトブレイク[2]
2021	セネガル	3	0	ファティック（南西部）[3]
2022	モーリタニア	47	23	9地域一家畜流行・高致死率[4]
2022	ルワンダ	牛3112頭	不明	家畜中心エピソードティック[5]
2025	セネガル	56	8	サン＝ルイ流行・死者多数[3]

- 発生件数・死者数は報道・疫学論文・OIE/WHO/CDC公式年表集計を基に抽出。[1][2][3][4][5]
- 大流行年は2006年（ケニア）、2007年（ケニア・ソマリア・タンザニア）、2010年（南アフリカ・モーリタニア）、2020年（スーダン）、2022年（モーリタニア）など。[1][2][4]
- 家畜流行が激しい年は死者増加とリンク（2010年南ア家畜死8000例、2022年ルワンダの家畜感染3112例）。[1][5]
- この表は特定年のみ主要国の発生・死者数をまとめているため、細かな国別・地域別のデータは各国公衆衛生報告やOIE/WHO年次レポートを参照。[1][2][3]

参考文献

1. https://stacks.cdc.gov/view/cdc/156273/cdc_156273_DS1.pdf
2. https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_Rift_Valley_fever_outbreaks
3. <https://lesoleil.sn/actualites/sante/epidemie-de-fievre-de-la-vallee-du-rift-4-deces-enregistres-a-saint-louis/>
4. <https://www.who.int/fr/emergencies/disease-outbreak-news/item/2022-DON417>
5. https://wwwnc.cdc.gov/eid/article/30/10/24-0264_article